

2023（令和5）年6月17日（土曜日）に開催された外国籍県民かながわ会議
（第12期・第3回）の議事録は次のとおり。

1 開会

（事務局）

- 6月の人事異動で着任した職員の紹介を行った後、会議のルール、傍聴者、会議の録音、欠席者及び配付資料について説明した。

<前回の振り返り、本日の流れについて>

（柳 晴実 委員長）

- 前回の会議では、各委員の提言構想メモの内容を一緒に確認した。また、県民会議でどのようなことができるのかを皆で共有するため、かながわ外国人すまいサポートセンターの設立経緯について話を聞いた。
- 本日は、これから話し合いを進めていくために部会を作りたいと思っている。どういう部会を作るか、誰がその部会に入るかを相談して決めたいと思う。また、部会長も決めたいと思っている。
- 会議後半は、各委員の提言構想メモに関連する既存の制度などについて、国際課で調べていただいた内容を説明していただく。本日は話を聞いて、これから部会で話し合いを進めていくうえでのヒントにできればと思う。

2 議題

(1) 部会分けについて

（柳 晴実 委員長）

- 資料2を御覧いただきたい。前回の会議の発表内容と提言構想メモを基に、部会編成案を作成した。案なので、これで決まりというわけではない。皆さんの意見を聞いて調整したうえで、正式決定したい。
- 部会は3つに分けたらどうかと思っている。各部会の内容とメンバーについて、委員長・副委員長から説明する。

（兪 大達 副委員長）

- 次世代・教育部会は、外国籍の子どもへの教育、外国人留学生の活躍を推進するプログラム、外国籍県民の若年層におけるポテンシャルを発見するなどの提案が含まれている。メンバーはサブコタドルラズ

委員、肖欣怡委員、蔣香梅委員、レダンコア委員、私の5名である。

岩松 佐由美 副委員長

- 情報部会の提案は、日本語教室のオンライン化の強化 & 小中学生の授業のサポートオンライン化、ファミリーサポートセンターの入会資料と支援会員研修会の多言語化対応について、For外国人何でも手続きセンター設置について、外国籍県民かながわ会議の提言後の状況確認制度設立、外国人の意見を確認できる制度設立、神奈川県にある外国籍県民への情報提供の管理改善である。メンバーは私、祁静委員、金愛蓮委員、河相宇委員、ロボナシメント委員の5名である。

柳 晴実 委員長

- 社会福祉部会では、外国籍県民の高齢化の問題であったり、医療に関すること等について話し合っていく部会として設定している。メンバーは鈴木クリスティーナ委員、ハリロバナタリア委員、リディアワインタ委員、私の4名である。
- 韓昌燾委員の提言構想は【未定】としているが、どこにでも当てはまる内容であり、先日の打合せでは決めきれなかった。韓委員の意見も聞きながら、どこに入っていたかを決めたいと思う。
- 各委員の提言構想の中には、複数の内容を含むものもあるかと思うが、全体の人数バランスなども考慮して案を作成した。

韓 昌燾 委員

- この部会分けの基準は何か。

柳 晴実 委員長

- 各委員の提言構想について、どのようなテーマに関係があるか大まかに分けて、そのテーマに沿った形で部会の名前を付けた。

韓 昌燾 委員

- テーマに沿って分けたのであれば、No. 14 の学校教育に関する内容が次世代・教育部会ではないのはなぜか。

りゅ ちよんしる いいんちやう
(柳 晴実 委員長)

- 各**かくぶかい**部に**いいんちやう**委員長、**ふくいんちやう**副委員長が一人ずつ入ろうということになって、**ちやうせい**調整のために**わたし**私が**しゃかいふくしぶかい**社会福祉部会に入った。

はん ちゃんひ いいん
(韓 昌熹 委員)

- テーマが違っても**ちが**調整は可能であるということか。

りゅ ちよんしる いいんちやう
(柳 晴実 委員長)

- そうである。**わたし**私の**ていげん**提言は、**いいん**サポコタ委員の**ていげん**提言に**ぼご**母語・**ぼぶんか**母文化に関する**ないよう**内容があるため、**なか**その中で**はんえい**反映してもらえる**ぶぶん**部分もあると**かんが**考えた。

はん ちゃんひ いいん
(韓 昌熹 委員)

- **ぜんかい**前回の**かいぎ**会議で、**みな**皆さんから**ていげんこうそう**提言構想の**せつめい**説明を聞いた**とき**時は、**しょういいん**肖委員の**がいこくじんにゅうがくせい**外国人留学生の**かつやく**活躍を**すいしん**推進する**いん**プログラム、**レダンコア**委員の**じゃくねんそう**若年層における**ほつせん**ポテンシャルを**はつけん**発見する、**よこ**そういう**よこ**横の**つながり**つながりが**ひつよう**必要なものが**いっしょ**一緒に**おも**の**グループ**グループではないか**おも**と思った。**わたし**私は**つく**コミュニティを作る**こと**だけが**もくてき**目的ではない**ため**ため、**それら**それらと**おな**同じ**グループ**グループになるか**おも**と思っていた。
- **げんじやう**現状は**じせだい**次世代と**きやういく**教育が**おな**同じ**ぶかい**部会になっており、**どう**どうなのか**おも**とも**おも**思う。**きやういくもんだい**教育問題を**かいけつ**解決するには**けん**県の**きやういくきよく**教育局との**れんけい**連携が**ひつよう**必要になり、**じせだい**次世代とは**すこ**少し**じげん**次元が**ちが**違う**き**気がする。**かくいいん**各委員の**かだい**課題を**ぜんぶじつげん**全部実現できる**わけ**わけではないから、**かだい**これから**はな**課題について**あ**話し合**あ**って**ごういけいせい**合意形成した**ないよう**内容を**どこ**どこまで**ていげん**提言するか**かんが**ということ**かんが**を**かんが**考えると、**じゃつかんちやうせい**若干**ひつよう**調整が**おも**必要だ**おも**と思う。

りゅ ちよんしる いいんちやう
(柳 晴実 委員長)

- **じっさい**実際に**ぶかい**部会**わ**分けを**かんが**考える**さい**際に、**きやういく**教育と**じせだい**次世代を**いっしょ**一緒に**いっしょ**にするか**どう**どうか**いっしょ**という**はなし**話は**あ**あったが、**ぶかい**部会として**にん**4～5人**ぐらい**ぐらいでないと、**いけんこうかん**意見交換が**すす**進まない**ところ**ところもある**ので**ので、**きやういく**教育と**じせだい**次世代を**いっしょ**一緒に**ぶかい**部会にした。
- **ぶかい**部会としては**ひと**一つで**うご**動いてもら**う**って、**ぶかい**部会**なか**の中で**たんとう**担当を**き**決めて**すす**進めてもら**う**やり方もある。**かた**部会が**ぶかい**決ま**って**から、**き**部会**ぶかい**長と**ちやうせい**調整して**ほしい**ほしい。**ぶかい**部会**じたい**自体を**わ**分けると、**たと**例えば**にん**3人**のうち**うち**ひとり**1人が**やす**お休**み**したら**ふたり**2人**だけ**だけに**な**なってしまう**ので**ので、**ぶかい**できれば**にん**部会の**メンバー**メンバーは**4～5人**4～5人**は**は**い**いて**ほしい**ほしい。

はん ちゃんひ いいん
(韓 昌燾 委員)

- テーマの類似性より、バランス、人の配分が優先であれば、社会福祉部会でも構わない。

りゅ ちよんしる いいんちやう
(柳 晴実 委員長)

- 各部会の人数を5人で揃えなければいけないわけではない。次世代・教育部会の提言がやりたい内容に近ければ、次世代・教育部会に入っていたとしてもよい。
- 韓委員がどの部会に入るかはともかく、他の委員から別の部会に入りたいなどの希望があればお聞かせ願いたい。

きむ えよん いいん
(金 愛蓮 委員)

- 私が書いた提言構想とは異なるが、前期から鈴木クリスティーナ委員の挙げている高齢化問題に興味があり、介護保険や高齢者向けの問題と一緒に議論したいので、社会福祉部会に入りたい。

りゅ ちよんしる いいんちやう
(柳 晴実 委員長)

- 承知した。他の方はどうか。部会を決めてしまうと移動が難しくなるので、気になるところがあれば、今日意見を出していただきたい。

はん ちゃんひ いいん
(韓 昌燾 委員)

- 河委員は提言構想を2つ出しているが、メインにしたいのはどちらか。両方は難しいのではないか。

は さんう いいん
(河 相宇 委員)

- せっかく提言したのにその後の状況が分からないため、提言後の状況確認をメインにしたい。

きむ えよん いいん
(金 愛蓮 委員)

- 1点確認したい。各委員の提言すべてを最後まで残すつもりか。前期はそういう感じだったが、その必要はないのではないか。共通するものをまとめて、部会で1つか2つの提言にしてもよいのではないか。

りゅ ちよんしる いいんちやう
(柳 晴実 委員長)

- 前期はオンライン開催が多く、対面での話し合いができなかったため、各委員の提言を最後まで残すような傾向になったと思う。本来は部会の中で意見交換し合っ、まとめられるものはまとめる、提言として挙げるのが難しいものは先送りにする、テーマを決めてどれを提言にするか選ぶことも部会でやってもらって、そのうえで提言をどういう内容にするのかを決めてもらうという流れになると思う。
- 今はまだ部会が決まっていないので、各委員がやりたいと思っていることをもとに、近いものを集めて部会分けをしている。本日の会議後半、国際課からもいろいろな情報をいただけると思うので、それも含めて次の部会、そういう話し合いを始めてもらうイメージだと思う。
- 先ほど河委員は提言構想を2つ出しているもので、どちらかにするという話も出たが、それも含めて部会で話をしていくことになると思う。
- 他に意見はないか。リディア委員は大丈夫か。

(リディア ワンタ 委員)

- 私の提言構想は情報発信に関する内容もあるし、社会福祉に関する内容もあるので正直迷いがある。

りゅ ちよんしる いいんちやう
(柳 晴実 委員長)

- どのように情報発信するかは、すべての提言構想に当てはまる課題であるため、すべて情報部会に関わるところはある。私たちも迷った部分なので、こうしたいという意見があれば、言ってもらいたい。

はん ちゃんひ いいん
(韓 昌燾 委員)

- 金委員が社会福祉部会に移動するので、リディア委員が情報部会に移動してもよいのではないかと。

りゅ ちよんしる いいんちやう
(柳 晴実 委員長)

- それも1つの方法である。リディア委員が情報発信に力を入れたたい気もちがあるなら、移動していただいてもよい。

(リディア ワンタ ^{いいん} 委員)

- ^{しゃかいふくしづかい} 社会福祉部会の方がよいかもしれない。今日 ^{きょうき} 決めるのか。

(^{りゅ} 柳 ^{ちよんしる} 晴実 ^{いいんちやう} 委員長)

- 今日 ^{きょう} 部会分けを ^わ 行い、^{おこな} 部会 ^{ぶかい} 長 ^{ちやう} を決めたい。

(リディア ワンタ ^{いいん} 委員)

- ^{しゃかいふくしづかい} 社会福祉部会のままでよい。

(^{りゅ} 柳 ^{ちよんしる} 晴実 ^{いいんちやう} 委員長)

- ^{かくぶかい} 各部会 ^{はな} で話し合 ^あ ったことを、^{じやうほうぶかい} 情報部会 ^{ていげん} が提言 ^{ほうほう} としてまとめた方法 ^{ほうほう} を使 ^{つか} って ^{じやうほうはっしん} 情報発信 ^{おも} していくこともできると思 ^{おも} う。また、^{かくぶかい} 各部会 ^{はなし} で話 ^{はなし} をするだけではなく、^{ぜんたい} 全体 ^{じやうほうきやうゆう} で情報共有 ^{はな} しながら話し合 ^あ いを進 ^{すす} めていくので、^{つど} その都度 ^{じぶん} 、自分 ^{ちが} と違 ^{ぶかい} う部会 ^{いけん} のことでも、意見 ^{つた} を伝えることはできる。

(^{はん} 韓 ^{ちゃんひ} 昌熹 ^{いいん} 委員)

- テーマ ^{かだいにんしき} とい ^{おも} うか課題認識 ^{かだい} だと思 ^{おも} う。これが課題 ^{かだい} だとい ^{おも} うことがあ ^{おも} っ ^{ていげん} て、提言 ^あ するに当 ^{かだい} た ^{かいけつ} っ ^{ていげん} てはその課題 ^{かだい} を解決 ^{かいけつ} するためのメソ ^い ッドも入 ^い れないとい ^い けないと思 ^{おも} う。課題 ^{かだいにんしき} 認識 ^{ちか} が近 ^{ちか} いものがある ^{ちか} と1 ^{ちか} つグル ^{ちか} ープが ^{ちか} できるし、メソ ^{ちか} ッドで ^{ちか} まとめる方法 ^{ちか} もあると思 ^{ちか} う。
- ^{いいん} リディア ^{ていげんこうそう} 委員 ^{じやうほうぶかい} の提言 ^{ちか} 構 ^{ちか} 想 ^{ちか} は、メソ ^{じやうほうぶかい} ッド ^{ちか} につ ^{ちか} い ^{ちか} ては情報 ^{じやうほうぶかい} 部会 ^{ちか} が近 ^{ちか} いと思 ^{ちか} うが、課題 ^{かだいにんしき} 認識 ^{ほう} の方 ^{しゃかいふくしづかい} は社会 ^{かん} 福祉 ^{かん} 部会 ^{かん} とい ^{かん} う感 ^{かん} じ ^{かん} が ^{かん} した。それがど ^{かん} ちら ^{かん} か ^{かん} とい ^{かん} う視 ^{かん} 点 ^{かん} で選 ^{かん} 択 ^{かん} す ^{かん} れば ^{かん} よ ^{かん} い ^{かん} と ^{かん} 思 ^{かん} う。今 ^{かん} は ^{かん} 課 ^{かん} 題 ^{かん} 認 ^{かん} 識 ^{かん} の ^{かん} 部 ^{かん} 分 ^{かん} を ^{かん} 共 ^{かん} 有 ^{かん} し ^{かん} たい ^{かん} とい ^{かん} うこと ^{かん} の ^{かん} ため ^{かん} で、^{ほか} 他 ^{みな} の ^{してん} 皆 ^{かん} さん ^{かん} も ^{かん} そ ^{かん} う ^{かん} い ^{かん} う ^{かん} 視 ^{かん} 点 ^{かん} で ^{かん} 考 ^{かん} え ^{かん} て ^{かん} い ^{かん} た ^{かん} だ ^{かん} け ^{かん} る ^{かん} と、^{ひと} 人 ^{はいぶん} の ^な 配 ^{おも} 分 ^{おも} を ^{おも} 直 ^{おも} せ ^{おも} る ^{おも} と ^{おも} 思 ^{おも} っ ^{おも} た。
- ^{わたし} 私 ^{かん} につ ^{かだいにんしき} いて ^{ぶぶん} は ^{じせだい} 課題 ^{きやういくぶかい} 認識 ^{いっしょ} の ^{はなし} 部 ^{はなし} 分 ^{はなし} で、^{じせだい} 次 ^{きやういくぶかい} 世 ^{いっしょ} 代 ^{はなし} ・ ^{いっしょ} 教 ^{はなし} 育 ^{はなし} 部 ^{はなし} 会 ^{はなし} で ^{はなし} い ^{はなし} っ ^{はなし} しょ ^{はなし} に ^{はなし} 話 ^{はなし} が ^{はなし} でき ^{はなし} れ ^{はなし} ば ^{はなし} よ ^{はなし} い ^{はなし} と ^{はなし} 思 ^{はなし} う。

(^{りゅ} 柳 ^{ちよんしる} 晴実 ^{いいんちやう} 委員長)

- ^{はん} 韓 ^{いいん} 委員 ^{じせだい} は ^{きやういくぶかい} 次 ^{ほか} 世 ^{かた} 代 ^{かた} ・ ^{かた} 教 ^{かた} 育 ^{かた} 部 ^{かた} 会 ^{かた} と ^{かた} す ^{かた} る。他 ^{ほか} の ^{かた} 方 ^{かた} は ^{かた} ど ^{かた} う ^{かた} か。

(レ ダンコア 委員)

- ・ 最初、次世代・教育部会は2つの小さいグループに分けられると思
ったが、委員長の説明で納得した。部会内で相談して対応を考えたい。

(柳 晴実 委員長)

- ・ 部会は次世代・教育部会、情報部会、社会福祉部会の3つに分ける。
韓委員は次世代・教育部会に入る。金委員が社会福祉部会に移動する。
このようなメンバーで活動していくので、よろしくお願ひしたい。

(2) 部会長の選出

(柳 晴実 委員長)

- ・ 続いて部会長を選出したい。部会毎に話し合い、部会長を決めて
ほしい。部会長の役割は各部会の進行役を務めることと、部会で話し
合った内容を全体に共有すること。委員長・副委員長が各部会に入っ
ているので、相談しながら進めてほしい。
- ・ 現在は会議の事前打合せを、委員長・副委員長と事務局で行ってい
るが、必要な時には部会長にも入っていただきたいと思っている。
- ・ 本日の座席は部会編成案で同じ部会の方を近い場所に行っている
ので、それぞれ集まって話し合いをお願ひしたい。

<部会毎に話し合いを実施>

(柳 晴実 委員長)

- ・ 部会の話し合いの結果を共有してほしい。発表は副委員長が行い、
部会長から一言いただきたい。

(兪 大達 副委員長)

- ・ 次世代・教育部会では、肖欣怡委員が部会長に決まった。

(肖 欣怡 委員)

- ・ 次世代・教育部会の中で、皆さんと相談しながら進めていきたい。
他の部会とも情報共有しながら進めたい。

いわまつ さゆみ ふくいんちょう
(岩松 佐由美 副委員長)

- ・ 情報部会では、ロボナシメント委員が部会長に決まった。

(ロボ ナシメント 委員)

- ・ 情報部会はいろいろなテーマが入っているのでまとめ方が難しいが、河委員が第11期の委員の経験があるので、助言をいただき、皆さんとも一緒に話し合いながら進めていきたい。

りゅ ちよんしる いんちょう
(柳 晴実 委員長)

- ・ 社会福祉部会では、リディア・ワンタ委員が部会長に決まった。

(リディア ワンタ 委員)

- ・ 皆さんの意見をまとめて、どういうふうに提言していくか、検討していきたいと思う。

りゅ ちよんしる いんちょう
(柳 晴実 委員長)

- ・ 部会のメンバーと部会長が決まったので、次回からは各部会で話し合いを進めていきたい。部会長は進行する役割だけで大変なので、協議内容を誰が記録するかなど、進め方は各部会で相談してほしい。

(3) 提言構想メモに関する情報の共有

りゅ ちよんしる いんちょう
(柳 晴実 委員長)

- ・ ここからは事務局に話をさせていただく。御存知の方も多いと思うが、最初に多文化共生の定義や、県内の外国人の状況等をお話いただく。
- ・ その後、皆さんの提言構想メモに関する情報について、資料4に沿ってお話いただく。前回の会議の後、事務局でいろいろと調べていただいた。今日はその内容を議論するわけではなく、情報として受け取って、次回以降の部会における検討につなげていきたい。
- ・ まず資料に記載された内容について説明していただいたうえで、質疑応答の時間を設ける。

じむきょく
(事務局)

- ・ パワーポイントの資料を投影し、多文化共生の定義、神奈川県
の外国人数の推移と県民比、国・地域別外国人数、主要国籍（出身地）別
外国人数の割合、日本に住んでいる外国人の歴史的な背景（オールドカ
マー、ニューカマー）について説明した。

(ロボ ナシメント 委員)

- ・ ネパール人が増えている理由はなぜか。

じむきょく
(事務局)

- ・ 明確な理由は分からない。箱根町の旅館で働くネパールの方が増
えているということは聞いているが、それだけが理由ではないと思う。

りゅう ちよんしる いいんちやう
(柳 晴実 委員長)

- ・ 39人に1人が外国人ということで、国籍が外国人の方を数えていると
思うが、日本国籍を持っている方や、二重国籍（国籍を選択すべき期限
を迎えていない）を含めると、外国につながるのある人という意味では
もっと多くなると思う。
- ・ 外国人の割合も少し前までは2%程度と聞いていたが、2.6%という
ことですごく増えていると思う。
- ・ 続いて、提言構想メモに関係する情報について説明をお願いしたい。

じむきょく
(事務局)

- ・ 資料4に沿って、国・県・市町村・関係機関等の既存の取組について
情報共有するとともに、提言を作成していくに当たって考慮が必要と
思われる点について説明した。

き せい いいん
(祁 静 委員)

- ・ ファミリーサポートセンターの提言構想については、県にその制度に
ついて対応してほしいという意味である。括弧書きのところは、例とし
て横浜子育てサポートシステムを挙げた。

じむきょく
(事務局)

- ・ 提言構想メモでは横浜市のことが例示されているが、真意としては、県に対して取り組んでほしいということか。

きせい いいん
(萩 静 委員)

- ・ そうである。県のファミリーサポートセンターのシステムに対して、入会資料と配付資料の多言語化、支援会員研修会を開催してほしいという意味である。横浜市独自のシステムについて県が対応できないことは分かっている。言葉が足りなくて申し訳ない。

きむ えよん いいん
(金 愛蓮 委員)

- ・ 外国籍県民の高齢化問題について、先ほどの説明にもあったとおり、最初のニューカマーは1980年なので、その人たちも高齢化して60代後半を迎える方もいると思う。
- ・ 私が「For外国人何でも手続きセンター」の提言構想を考えたのも、高齢になった人たちに介護保険のことを情報提供できているかという問題意識があったからである。
- ・ 日本人でも年を取り病気になって初めて介護保険について詳しくなったなど、内容を知らない方が多い。高齢になって自分がいつ倒れるか、いつから高齢者なのかも分からないと思うので、介護保険の所管課とか、介護保険がどういうものか共有する方法などを、検討していきたい。

ほん ちゃんひ いいん
(韓 昌熹 委員)

- ・ 外国人コミュニティ・団体のネットワーク会議に関する提言構想について、現在は個別の依頼で行事に参加したりというつながりはあるが、皆が集まる場で県から協力をお願いするような仕組みはないということではどうか。例えば商工会では、県内の中 小企業が集まって情報交換を行ったりしていると思うが、そういうものはないのか。

じむきょく
(事務局)

- ・ 現状はない。

はん ちゃんひ いいん
(韓 昌熹 委員)

- その理由は、作りづらい、やりづらいからか。それとも、県としてそこまでの必要性を感じていないということか。

じむきよく
(事務局)

- 外国人コミュニティの状況を把握しきれていないのが1番の理由だと思う。NPO化している団体や、有志でやっている団体もある。もしそういう会議を作るなら、まずは実態を把握するところからだと思う。

はん ちゃんひ いいん
(韓 昌熹 委員)

- 外国人全体に情報を伝えたり、協力を得るため説明が必要なことについては、ネットワーク会議を通じて行った方がよいと思った。
- 今、かながわボランティア活動推進基金21という助成金をもらって、災害くらし応援・みんなのネットワークかながわで、外国人にどのように情報を伝えるかということも検討している。災害情報も、そのようなネットワーク会議があれば、そちらを通じて発信できると思う。
- また、入管の制度が変わったり、コーディネーターの制度ができて周知・協力をお願いする際も、そうした会議を通じて周知した方が個別に説明するより業務量が減るのではないかと思う。
- 各団体も自分たちだけの話ではなく、外国人全体の立場を考えて発言できるようになるのではないかと思っている。そういうことについては議論されていないということではいいか。

じむきよく
(事務局)

- そこまでの話はしていない。コロナの流行で特別給付金が出ることになった時に、多言語支援センターかながわで情報提供はしていたが、外国籍県民の方に情報が届かなかったという実態がある。
- 留学生に情報を届けるため、かなファーステーションで多言語化して発信したら、この給付金は知らなかったという反応があった。国際課としては、留学生や外国籍県民向けに、いろいろなツールを使って情報発信していくことで、結構多くの方に情報が届くと思っている。韓委員が提案する方法も実現可能性は検討が必要だが、ありうると思う。

りゆ ちよんしる いいんちよう
(柳 晴実 委員長)

- それぞれの提言構想の内容を確認しながらこれだけの情報を調べるのは大変だったのではないかと思う。事務局に感謝する。
- 本日部会分けが決まったので、自分の部会に関係するもの、自分の提言構想に関係するもの、事務局提供の情報で知らなかったものについては、委員の皆さんも詳しい情報を調べておいていただきたい。
- その結果を基に、次の部会で提言の中身について深い議論ができればよいと思う。今は実現が難しいものでも、方法を変えれば実現できる可能性もある。いろいろな方法を皆で一緒に考えるためには、いろいろな情報があった方がよいと思うので、下準備をお願いしたい。
- 前回の会議で勉強会の話をしたが、部会長も決まったので、これから具体的な実施方法も打合せしながら提案していきたい。先ほど、本日の傍聴者が持参してくれたチラシを配ったが、社会福祉部会とも関係が深い内容なので、可能であれば参加していただければと思う。
- 県民会議で勉強会を行うとしても、全部のテーマをできるわけではないので、皆さんの周りで研修会の情報が入ったら、LINE グループやこの会議にチラシを持ってきていただくなど、共有をお願いしたい。
- また「あーすフェスタかながわ 2023」の開催に向けて、企画委員会が始まっている。昨年は象の鼻パークで行ったが、一日で約2万人が参加する大きなイベントである。参加者は日本人も外国人もいるが、このイベントを県民会議でどう活用していくかも検討の余地がある。
- 企画委員会はボランティアで月1回会議がある。また、実行委員会には県民会議が入っている。多文化共生がテーマなので、いろいろな人と意見交換しながらイベントを作っていけるとよい。その中で県民会議について発信したり、情報を集めたり、そういう参加の仕方もある。私は企画委員だが、興味がある方は企画委員に参加してもらいたい。

じむきよく
(事務局)

- 次回の会議日程について、出席委員の予定を確認した結果、8月13日(日曜日)の午後で調整することになった。

いじよう
(以上)